

スミちゃんの韓国イヤギ①⑦

「プチ韓国体験記」

最近はもうすっかり秋の季節になってきました。今年の夏は暑さで相当苦労したせいか、吹いてくる涼しい風がとても心地よく感じます。

さて、今年の8月は、韓国語講座の受講生とともに「語学体験研修」(5日間)を行い、その研修の参加者を対象にちょっとしたアンケートを実施しました。その結果、いきいきした韓国体験の話がたくさんあったので、今月はその一部を皆さんに紹介します。

まず、5日間の韓国研修の間「難しかったことや不便だったことは？」という質問に対し、ほとんどの人がやっぱり言葉が一番難しかったと答えました。メンバーの中には、自分の韓国語を「結婚してください」と聞き間違えられて、返答に困られた人もいました(笑)。日本で勉強した韓国語と、現地で実際にする早口の韓国語とのギャップには、皆が相当な戸惑いを感じたようで、その戸惑いは私もよくわかりました。私も日本(大阪)に初めて来て関西弁をきいた時、いったい今まで勉強してきた日本語は何だったのだろうかと思い、泣きべそをかいたことがあるからです。

そして、「驚いたことやカルチャーショックを感じたことは？」という質問には次のような答えがありました。

- ・美容室が夜遅くまで開いていること(夜の12時までやっているところもある)
- ・韓国で日本のテレビ番組が結構放送されていること
- ・車のハンズフリーの電話のイヤホンを見たこと
- ・サウナで男性・女性がみんな同じシャツと短パンに着替えて一緒にサウナに入り、そこら中に寝ころがっていること
- ・サウナにインターネットとかゲームと映画があったこと

- ・ホームステイ先の女子大生のお祖父さんがウナギ屋さん経営していたことを聞いて、韓国人もうなぎ食べていることが分かったこと
- ・韓国人たちの親切さも想像以上だったこと
- ・コーヒーの味がちょっとお茶の味に近いような気がしたこと
- ・タクシーの運転がスリリングすぎたこと
- ・タクシーが安くて、すぐつかまり、便利だったこと
- ・7歳の韓国の男の子が「ブルーライトよこはま」を歌ったこと

これに加えて、5日間の韓国滞在中、不便なことや難しいことは一切なかったし、カルチャーショックもまったく感じなかったと回答したまさに「半分韓国人」の人もいました。これには、私の方が相当な逆カルチャーショックを受けてしまいました。他にも、ホームステイ先ごとにいろいろな面白いエピソードがたくさんあったらしく、たらいに水で顔と体を洗った人もいました(笑+笑)。

私にとって一番面白かった経験は、偶然入ったソウルのコーヒーショップで淀江の知人にばったり出会ったことです。お互いに自分の目を疑っていました。前に東京ディズニーランドで偶然、韓国の知人に会ったという話を韓国の友達から聞いたことがあり、かなり笑った覚えはありますが、まさか私にもこんなことが起こるとは思いませんでした。人生長くて、いろいろな経験ができるものですね。長生きしないと^^。

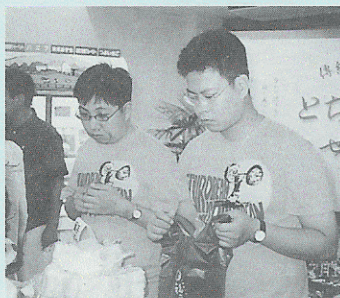
最後に、このプチ韓国語体験研修は韓国をわかてもらおう、また自分も改めて韓国のことを勉強する良い機会になり、今年の夏の一番楽しい思い出になりました。これから始まる秋の季節も一杯楽しんでみたいと思います。

(淀江町国際交流員 李秀美)



作業所の皆さんは「たいへん有難く思っています。地元の皆さんのおかげです」と心から喜んでおられました。

★ジャスコから4度目の贈呈
ジャスコ日吉津店のイエローシートキャンペーン事業により皆さんのたくさんのレシートの回収を受けて、9月1日(水)、淀江作業所にDVレコーダーが贈呈されました。



お客さんとのふれあいを毎回楽しみにしておられます。

★作業所の皆さんはいろいろなところで活躍しています！
8月21〜23日は米子高島屋で山陰の共同作業所まつりに、8月22日は寿城で24時間テレビのチャリティバザーに参加されました。

淀江作業所ニュース